

第15号

ふれあいネットワーク

社 協 だ よ り

平成24年7月15日発行

平川市社協基本理念

『地域の人たちと共に考え、共に築き、共に歩む福祉社会を目指します』



災害時に備えて……

(みなみの町会「災害時炊き出し訓練」)



社会福祉法人 平川市社会福祉協議会

編集
と
発行

- 事務局
平川市柏木町藤山16-1
(平川市健康センター内)
TEL44-5937 FAX44-4574
URL:<http://www.hirasyakyo.org/>
- 尾上事業所
平川市猿賀南田96-3
(平川市尾上地域福祉センター内)
TEL57-5311 FAX57-5313
- 碇ヶ関事業所
平川市碇ヶ関三笠山120-1
(平川市碇ヶ関地域福祉センター内)
TEL45-2725 FAX45-2782

「東日本大震災」を教訓として、3月11日に
「みなみの町会」主催の「災害時炊き出し訓練」
が、災害時に備えて行われました。社協の「福祉
情報出前講座」にも「東日本大震災から学ぶ～減
災のまちづくり～」や「福祉的避難訓練」等のメ
ニューがありますので、町会、団体等の学習会や
勉強会でご利用ください。
また、社協では、災害用大鍋等の備品も貸出し
しています。



この広報紙は、皆様の会費と赤い羽根共同募金の配分金で作成されました。

齋藤博美氏、副会長に就任する。

この度、任期の途中ではありますが、団体等の代表に交代がありましたので、理事、評議員の一部に異動がありました。6月18日に第2回理事会を開催して、齋藤博美氏が副会長に就任しました。

なお、交代した理事、評議員の方は、下記の方々です。

また、退任されました理事、評議員の皆様には、本会の事業推進に多大なるご尽力をいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

※理事 新任 齋藤 博美 氏（町内会等住民自治組織） 退任 大黒 正勝 氏

　　" 高阪 盛男 氏（平川市老人クラブ連合会） " 佐藤 順一 氏

　　" 一戸 清志 氏（平川市市民生活部長） " 櫻庭 正紀 氏

※評議員 新任 工藤 啓一 氏（町内会等住民自治組織） 退任 福士昭三郎 氏

社会福祉法人平川市社会福祉協議会役員名簿（平成24年6月18日現在）

（理事 定数10名）（任期 自 平成23年7月1日～ 至 平成25年6月30日）（敬称略）

職名	氏名	選出区分	職名	氏名	選出区分
会長	外川三千雄	学識経験者	理事	成田和博	社会福祉事業経営団体
副会長	今俊一	ボランティア活動団体	理事	一戸清志	関係行政機関公務員
副会長	齋藤博美	町内会等住民自治組織	理事	藤田敏彦	学識経験者
理事	清藤盛正	民生委員・児童委員	理事	佐々木和子	学識経験者
理事	高阪盛男	福祉関係団体	常務理事	白戸一好	学識経験者

（監事 定数 3名）（任期 自 平成23年7月1日～ 至 平成25年6月30日）

氏名	選出区分	氏名	選出区分
古川欽一	学識経験者	柴田幸一	学識経験者
小田切忠一	学識経験者		

（評議員 定数21名）（任期 自 平成23年6月1日～ 至 平成25年5月31日）

氏名	選出区分	氏名	選出区分
櫛引清	民生委員・児童委員	外崎淑民	社会福祉事業・更生保護事業経営団体
工藤秀一	民生委員・児童委員	今井俊彦	社会福祉事業・更生保護事業経営団体
工藤啓一	町内会等住民自治組織	古川レイ子	保健・医療・教育関係機関
一戸勝廣	町内会等住民自治組織	小山内義通	福祉推進委員会
木村卓郎	福祉関係団体	工藤清彦	福祉推進委員会
齋藤文昭	福祉関係団体	平山純一	福祉推進委員会
樋口恵子	福祉関係団体	芳賀秀寿	関係行政機関公務員
大川富子	ボランティア活動団体	平川満江	学識経験者
葛西春樹	利用者の家族の代表	斎川悟郎	学識経験者
佐藤成子	地域福祉推進協力機関・団体	成田昌平	学識経験者
大里あさ	地域福祉推進協力機関・団体		

**平賀事業所
訪問介護事業所訪問介護員**

鈴木 恭子



平賀事業所の鈴木恭子です。6歳の女の子と2歳の男の子がいます。

社協に勤めて1年半が経ち、初めは仕事に慣れることで精一杯で、あっという間でした。

先輩方が親切に教えてくれて助けてくれるので、毎日楽しく仕事をさせて頂いています。

利用者さんと関わる仕事の中で、介護への興味と関心を持って、看護師としてだけでなく、介護福祉士にも目を向けていきたいと思っています。

**尾上事業所
通所介護事業所調理員**

山内 望



デイサービスの調理員として働かせていただいて4年目になります。日々、利用者さんの事を第一に考えて、献立作成・調理をしています。

人が生きていく上で欠かすことのできない食を通して、利用者さんの笑顔を見れる事にとても幸せを感じています。今後は、調理の技術・知識を今以上に身につけて利用者さんに優しく、ぬくもりのある食事を作っていきたいと思っています。

**碇ヶ関事業所
通所介護事業所介護職員**

佐々木 俊



社協だよりをご覧のみなさま、初めまして！碇ヶ関事業所デイサービス所属の佐々木俊です。私は2年前より地元碇ヶ関で働いています。福祉職に就くにあたって兼ねてから持っていた「地元の高齢者の役に立ちたい」という夢に向かって邁進中です。大変な事も多々あります。高齢の方々との触れ合いは毎日いろいろな事があり、楽しいです。今後は、現在挑戦している資格を取得し、さらに皆様のお役に立てる様、頑張りたいです。

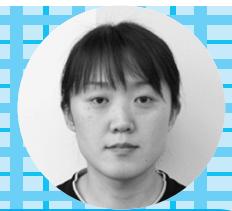
社協職員紹介

その1



**平賀児童館
児童厚生員**

長尾 優美



今年の4月から、平賀児童館の勤務となりました。これまで5年間、放課後児童クラブでの勤務だったので、新たに覚えることもあり、教えてもらいながら、仕事をしています。

体を動かすことや工作をすることが好きなので、平賀児童館でも、子ども達と一緒に色々なことに取り組んで、子ども達に楽しんで過ごしてもらえるよう頑張りたいと思います。

**社協事務局
地域福祉課臨時職員**

八木橋知里



平成24年4月2日から、平川市社会福祉協議会で働かせて頂くことになりました。入社当時は、もちろん何もかも初めてのことばかりで、不安や戸惑いはありました。しかし、3ヶ月が経つ今、少しずつではありますが仕事にも慣れ、一日一日が充実してきたように感じます。

1年間という短い期間ではありますが、皆さんのご指導を頂きながら精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

今回は、各事業所で一番若い職員に登場していただきました。

社協会費納入で福祉推進へご参加を!

市民の皆様には日頃より社協事業の推進について、特段のご理解とご協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。社協における会員とは、会費の納入によって資格や権利を生じる社団法人等の社員とは性格が違い、会費を納入し会員となることで地域福祉の推進や社協事業への参加を意思表示していただくという意味合いがございます。

住民会員制度は、社協事業を地域住民の参加・協力・支持によってすすめるために必要な基本的制度として推進を図つており、直接的な参加ができるない方でも社協会費を納入していただくことで間接的に参加しているともいえますので、どうか趣旨ご理解のうえご協力下さるようお願い申し上げます。つきましては、7月1日より、ご協力いただいているとあります各町会関係者の皆様があ伺いしますので、会費の納入につきまして特段のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



○企業・団体会員（企業・団体）	□ 3,000円以上	○特別会員	□ (特に賛同ご協力いただける方)	○一般会員	□ 1,000円
-----------------	------------	-------	-------------------	-------	----------

平成23年度会費実績

一般会費	8,460件	8,281,400円
特別会費	11件	33,000円
企業・団体会費	19件	57,000円
合 計	8,490件	8,371,400円

お知らせ

「東日本大震災」の義援金について（報告）

「東日本大震災」の義援金をお願いいたしましたところ、市民の皆様からは、多額の善意が寄せられました。被災された方々の一日も早い復興を願って、義援金を下記のとおり、送金いたしました。本当にありがとうございました。

また、義援金の受付は、今年の9月30日まで延長されました。

※義援金内訳 個別募金	平賀地域	4,801世帯	4,529,470円
	尾上地域	2,425世帯	1,818,723円
	碇ヶ関地域	864世帯	637,805円
事務局受付分	個人	28名	238,400円
	団体	30団体	1,429,656円
街頭募金		4ヶ所	70,151円
募金箱		5ヶ所	43,586円
合 計			8,767,791円

※送金先内訳	中央共同募金会（県外の被災地へ送金）	8,404,654円
	青森県共同募金会（県内の被災地へ送金）	363,137円
	合 計（平成24年6月30日現在）	8,767,791円

平成24年度(第15回)青森県介護支援専門員実務研修受講試験案内について

青森県社会福祉協議会が実施する平成24年度介護支援専門員（ケアマネージャー）実務研修受講試験の受付が始まりました。平川市社協では、各事業所において試験案内の配布協力をしておりますので、受験希望者は各事業所窓口までお越し下さい。

試験日時	平成24年10月28日（日曜日）午前10時開始	
試験申込受付期間	平成24年7月2日から7月31日まで（当日消印有効）	
試験会場	青森会場：青森山田高等学校 弘前会場：弘前工業高等学校 八戸会場：八戸工業高等専門学校	
試験実施機関	社会福祉法人青森県社会福祉協議会 福祉人材課 介護支援専門員実務研修受講試験係	
試験案内配布場所	☎ 017-732-4335 平川市社会福祉協議会（平川市健康センター内） 尾上事業所（尾上地域福祉センター内） 碇ヶ関事業所（碇ヶ関地域福祉センター内）	

平成二十四年度事業計画(抜粋)

基 本 理 念

「地域の人たちと共に考え、共に
築き、共に歩む福祉社会を目指し
ます」

重 点 目 標

- 1、法人経営の基盤強化
- 2、相談・援助体制の確立
- 3、地域生活支援の強化
- 4、地域福祉事業における住民参加の促進
- 5、福祉教育・ボランティア活動の推進
- 6、低所得者・障がい者等の自立生活支援
- 7、介護保険事業・介護予防事業の経営基盤の強化
- 8、共同募金配分事業の効果的実施
- 9、指定管理者事業の経営・受託事業の効果的運営

事 業 内 容

- 法人経営の基盤強化
- 理事会・評議員会・三役会議の開催
- 福祉推進委員会の開催（三地域）

- | | |
|--|---|
| <p>4、地域福祉事業における住民参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ほのぼのコミュニティ21推進事業 ● 町会福祉会・福祉部支援及び設置促進 ● 地域ふれあい交流会開催事業 ● 40ヶ所 | <p>5、福祉教育・ボランティア活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福祉情報出前講座の講師派遣・斡旋 ● 福祉教育の推進（ボランティア推進校、小学生・中学生福祉体験事業、福祉教育に関する調査の実施、社会福祉士実習等の受入れ） ● 福祉教育の推進（ボランティア推進校、小学生・中学生福祉体験事業、福祉教育に関する調査の実施、社会福祉士実習等の受入れ） |
| <p>6、低所得者・障がい者等の自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● たすけあい資金の貸付 ● 生活福祉資金・総合支援資金の貸付 ● N H K歳末たすけあいの配分（共募配分事業） ● 障がい者通園助成費の助成（冬期間） | <p>7、介護保険事業・介護予防事業の経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 訪問介護及び介護予防訪問介護事業所（ホームヘルパー） ● 訪問入浴介護及び介護予防訪問入浴介護事業所 ● 通所介護及び介護予防通所介護事業所（デイサービス） ● 居宅介護支援事業所（ケアプラン） |
| <p>8、共同募金配分事業の効果的実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ひとり暮らし高齢者等生活支援事業（料理教室、屋根の雪下ろし、配食等） ● 福祉機器の貸出、紹介、斡旋修理工（新規） ● 災害ボランティアネットワークの構築 | <p>9、指定管理者事業の経営・受託事業の効果的運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域定着自立支援事業への協力（新規） ● 安心生活基盤整備事業（県社会協指定事業） ● 福祉関係団体等との情報交換会 ● 成年後見サポートセンターの設立（新規） ● 成年後見人養成講習会の実施（新規） |

8、共同募金配分事業

● 地域福祉懇談会の開催

● 高齢者福祉活動費（会食サー
ビス、リフレッシュ事業）

● 障がい児・者福祉活動費（通
園助成費、愛の輪レクリエー
ション）

● 児童・青少年福祉活動費（小
学生・中学生福祉体験事業）

● 母子・父子福祉活動費（ファ
ミリーサポートセンター事業）

● 福祉教育・援助活動費（長寿
福祉大会、ボランティア推進
校事業、ふれあい交流会開催
事業、いきいきサロン事業）

● ボランティア活動育成事業
(屋根の雪下ろし事業、ボラ
ンティア市民活動センター事
業)

● 広報調査活動費（地域福祉懇
談会、社協だより発行、パン
フレット）

9、指定管理者制度事業・受託事
業の効果的運営

● 平川市尾上地域福祉センター・
保健センター、平川市碇ヶ関
地域福祉センター・保健セン
ターの管理運営（指定管理
者制度）

● 平川市平賀・尾上児童館（指
定管理者制度）



仲町一人暮らし高齢者宅訪問活動

10、その他の事業

● 障害者自立支援事業（居宅介
護事業）

● 福祉有償運送事業

● 三世代交流ふれあい広場の開
催

● 福祉関係団体事務受託

● 放課後児童健全育成事業（さ
るか児童クラブ）

● 在宅介護支援センター事業
(2ヶ所)

● 平川市地域包括支援センター
プランチ事業(2ヶ所)

● 平川市訪問入浴サービス事業
地域支援事業（介護予防事業）

(単位：千円)

勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
経常活動による収入の部		経常活動による支出の部	
会 費 収 入	8,405	人 件 費 支 出	237,540
寄 附 金 収 入	550	事 務 費 支 出	9,610
経 常 経 費 補 助 金 収 入	46,922	事 業 費 支 出	63,597
助 成 金 収 入	810	共 同 募 金 配 分 金 事 業	4,160
受 託 金 収 入	56,874	助 成 金 支 出	5,459
事 業 収 入	9,631	負 担 金 支 出	2,013
共 同 募 金 配 分 金 収 入	4,100	經理区分間繰入金支出	36,071
負 担 金 収 入	280		
介 護 保 險 収 入	193,921		
自 立 支 援 費 等 収 入	3,864		
雑 収 入	423		
受 取 利 息 配 当 金 収 入	60		
經理区分間繰入金収入	36,071		
経 常 活 動 収 入 計	361,911	経 常 活 動 支 出 計	358,450
施設整備等による収入の部		施設整備等による支出の部	
施 設 整 備 等 収 入 計	0	施 設 整 備 等 支 出	11,540
財務活動による収入の部		財務活動による支出の部	
財 务 活 動 収 入 計	11,540	財 务 活 動 支 出 計	8,336
予 備 費			0
当期資金收支差額合計			▲ 4,875
前期末支払資金残高			85,964
当期末支払資金残高			81,089

平成二十二年度事業報告

1、法人運営の強化

○理事会・評議員会・三役会議の開催

理事会4回 評議員会4回
監査会4回 三役会議5回

○各種委員会の開催
①児童館運営委員会1回
②福祉推進委員会5回(3地域)

○寄付金の実績
・寄付金 21件
1、776、598円
・物品等寄付 20件
受入れ(7名)
○社会福祉援助技術現場実習生の
受入れ(7名)
○職員メンタルヘルス研修会23回
○災害用大鍋等の備品の貸出38回
品

74品

2、相談・援助体制の確立

- ふれあい相談所の開設
- ・特別相談・一般相談
開設日数 149日
来談者数 57名



生	計	7	人 権	・ 法 律	3
年	金	1	財	産	23
職 業	・ 生 業	2	事	故	3
住 宅		9	児童福祉・母子保健		0
家 族		14	教育・青少年		0
結 婚		0	心身障害者福祉		1
離 婚		2	母子福祉・父子福祉		2
健 康	・ 衛 生	3	老人福祉		3
医 療		2	苦	情	12
精 神	・ 衛 生	0	そ の 他		11
計		98			

・広域法律相談、特別相談

- 日常生活自立支援事業
利用者 45名
延べ利用回数 497回
(内 旭光園利用者 60名)

○日 常 生 活 自 立 支 援 事 業

- ひとり暮らし高齢者等料理教室
延べ開催回数 6回
延べ出席者数 61名
○配食サービス事業
配食利用者数 24名

・福祉安心電話設置世帯に対する
安否確認及びニーズ把握
615名

3、地域生活支援の強化

○家族介護者交流事業
・平川市在宅介護者リフレッシュ
事業(2回実施)

参加者 介護者 52名
被介護者 7名

○高齢者の生きがいと健康づくり
推進事業

・三世代交流ふれあい広場事業
・延べ参加者数 38名

・高齢者軽スポーツ大会
参加者 500名

・さきおり教室(尾上事業所)
延べ開催日数 172日

・陶芸教室(尾上事業所)
延べ開催日数 143日

述べ参加者数 763名
(内 旭光園利用者 60名)



新山町会一人暮らし高齢者宅雪下ろし作業

4、地域福祉事業における住民参加の促進

- ほのぼの交流協力員数
訪問世帯数 611世帯
- 地域ふれあい交流会開催事業
41町会

- 石郷、岩館、荒田、小和森、館
田、松館、館山・松崎、唐竹、
配食サービス事業
配食利用者数 24名



蒲田町会ふれあい交流会

○ 広船、新屋、尾崎、藤野、光城、
平成、大坊、南田、苗生松、大
光寺、杉館、本町、柏木町、金
屋、南田中、李平、高木、新屋
町、猿賀、中佐渡、長田、八幡
崎、蒲田、新山、みなみの、駄
前、仲町、上二、古懸、川向、
十六夜、高田、三笠

○ ふれあいきいきサロン推進事
業 21 サロン

○ 小地域福祉活動事業 48町会

石郷、向陽、原田、荒田、苗生
松、館山・松崎、広船、新屋、
尾崎、町居、藤野、平成、大坊、
唐竹、光城、館田、大光寺、沖
館、杉館、平田森、岩館、三町

5、福祉教育・ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの強化・
ボランティア通信の発行
- ボランティア活動保険等の加入

団体協力者累計	303名
○ひとり暮らし高齢者リフレッシュ事業	
参加者	41名
愛の輪レクリエーション事業	78名
参加者	3名

- 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」の実施
- ・ 年度末設置台数 126台
- 協力員 391名
- ・ 着信状況（緊急通報13件 協力員要請15件 救急車要請6件）
- ひとり暮らし高齢者会食サービ
ス事業

○ボランティア協力校の指定8校
柏木小学校、広船小学校、小和
森小学校、金田小学校、猿賀小
学校、碇ヶ関小学校、平賀西中
学校、碇ヶ関中学校

○小学生福祉体験キャンプ

社会福祉法人緑風会

特別養護老人ホーム「緑青園」

参加者 小学生 22名

実習生 7名

6. 低所得者等の自立支援

○生活福祉資金の貸付（県社協より受託）	27件
福祉資金	2、008、000円
教育支援資金	0、000円
緊急小口資金	303、700円
総合支援資金	450、000円
利用者数	6件
○障がい者通園費の助成（県共募配分事業）	822、000円
申請回数	23回
助成額総計	202、660円

○中学生福祉体験キャンプ（未実施）
※既存の事業の見直しを図るため、市内全中学校へアンケート調査を実施

7. 介護保険事業等の 経営基盤の強化

- 訪問介護事業（3事業所）
延べ利用者数 1,586名
延べ訪問回数 13、317回
○訪問入浴介護事業（1事業所）
延べ利用者数 170名

9. 受託事業の効果的運営

- 機関紙「社協だより」の発行（2回）



光城町会親子交流クリスマス会

8、共同募金配分事業の効果的実施

- | | | |
|------------|--------|------|
| ○平川市長寿福祉大会 | 参考者 | 734名 |
| 表彰者 | 個人2名 | 1 |
| 感謝状 | 個人1名 | 1 |
| ク大会」 | 高齢者ペタン | 団体 |
| 参加者 | 87名 | |

10. その他事業

- | | |
|---------------------|--------|
| 延べ参加者 | 382名 |
| 特定高齢者向け「てんとうむし体操教室」 | 36回開催 |
| 延べ参加者 | 252名 |
| 家族介護者教室 | 15回開催 |
| 頭の体操教室 | 24回開催 |
| 延べ参加者 | 127名 |
| 援センター・プランチ(2カ所) | 1、421件 |
| 延べ相談件数 | 1、421件 |
| 介護予防教室 | 180回開催 |
| 延べ参加者 | 2、791名 |
| 一般高齢者向け「てんとうむし体操教室」 | 48回開催 |



会食サービス事業「園児との交流」



平田森町会ホットサロン

- | | |
|----------------------|---------|
| ○ 障害者自立支援事業（居宅介護） | 3 8 7 件 |
| 実利用者数 | 1 9 9 名 |
| 延べ訪問回数 | 1、508回 |
| ○ 平川市長寿福祉大会 | |
| 参考者 | 734名 |
| 表彰者 | 個人2名 |
| 感謝状 | 個人1名 |
| ○ ニュースポーツ「高齢者ペタンク大会」 | 1 団体 |
| 参加者 | 87名 |

平成23年度 一般会計資金収支決算書

平成24年3月31日現在
(単位:円)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
経常活動による収入の部		経常活動による支出の部	
会費 収入	8,371,400	人件費 支出	258,789,838
寄附金 収入	1,776,598	事務費 支出	10,395,720
経常経費補助金 収入	47,223,000	事業費 支出	62,898,377
助成金 収入	713,000	共同募金配分金 事業	3,976,239
受託金 収入	59,370,785	助成金 支出	5,307,000
事業費 収入	11,939,701	負担金 支出	1,788,500
共同募金配分金 収入	4,920,000	経理区分間繰入金 支出	40,771,906
負担金 収入	228,500		
介護保険 収入	213,133,887		
自立支援費等 収入	5,138,207		
雑 収入	5,255,927		
受取利息配当金 収入	43,614		
経理区分間繰入金 収入	40,771,906		
経常活動 収入計	398,886,525	経常活動 支出計	383,927,580
施設整備等による収入の部		施設整備等による支出の部	
施設整備等 収入計	0	施設整備等 支出	8,477,480
財務活動による収入の部		財務活動による支出の部	
財務活動 収入計	15,369,722	財務活動 支出計	22,540,850
予備費			
当期資金収支差額合計		▲ 689,663	
前期末支払資金残高		86,654,231	
当期末支払資金残高		85,964,568	

平成23年度一般会計貸借対照表

平成24年3月31日現在
(単位:円)

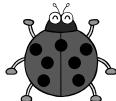
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	105,913,381	流动負債	19,948,813
預貯金	68,416,878	未払金	16,957,127
未収金	36,749,353	預り金	2,929,686
前払金	747,150	前受金	62,000
固定資産	221,707,825	固定負債	96,095,748
基本財産	3,000,000	退職給与引当金	96,095,748
その他の固定資産	218,707,825	負債合計	116,044,561
建物付属設備	1,319,044		
車両運搬具	9,373,115		
器具及び備品	8,341,134		
ソフトウェア	140,315		
積立預金	53,030,000		
退職共済積立預金	96,095,748		
福祉基金積立預金	50,408,469		
資産合計	327,621,206		
純資産の部			
基本金		3,000,000	
国庫補助金等特別積立金		2,163,746	
その他の積立金		103,438,469	
次期繰越活動収支差額		102,974,430	
純資産合計		211,576,645	
負債・純資産合計		327,621,206	

平成24年度介護予防普及啓発事業

てんとう虫体操（運動器の機能向上） 頭の体操（認知症予防）

継続して参加することで、より体操の効果がアップします！

教室開催のお知らせ



てんとう虫体操

運動器の機能向上を目的として、体操、レクリエーション等で筋力アップを図り、健康な体作りを行います。



頭の体操

認知症を予防することを目的として、ハンドベルやゲーム等で右脳を刺激し、脳の機能アップを図ります。

●参加対象者……平川市在住の65歳以上の方で、運動器の機能向上若しくは、認知症の予防に意欲のある方

●日 程

開催場所 尾上地域福祉センター		頭の体操 14:00～15:30
	てんとう虫体操	
	一次予防 10:00～11:30	二次予防 14:00～15:30
7月	10日・24日	5日・12日 19日・26日
8月	7日・28日	2日・9日 23日・30日
9月	11日・25日	6日・13日 20日・27日
10月	9日・23日	4日・11日 18日・25日
11月	13日・27日	1日・8日・15日 22日・29日
12月	11日・25日	6日・13日 20日
1月	8日・22日	10日・17日 24日・31日
2月	12日・26日	7日・14日 21日・28日
3月	12日・26日	7日・14日 21日・28日

開催場所 碇ヶ関地域福祉センター		頭の体操 13:15～15:15
	てんとう虫体操	
	一次予防 13:15～15:15	二次予防 13:30～15:00
7月	3日・17日	
8月	7日・21日	
9月	4日・18日	
10月	2日・16日	5日・12日 19日・26日
11月	6日・20日	2日・9日・16日 22日・30日
12月	4日・18日	7日・14日 21日
1月	8日・22日	9日・16日 23日・30日
2月	5日・19日	6日・13日 20日・27日
3月	5日・19日	6日・13日 21日・27日

※ 二次予防と頭の体操は、平川市の健診で該当になった方のみ対象です。該当者には、市役所から連絡があります。

この事業に関する問い合わせにつきましては、下記までご連絡下さい。

尾上在宅介護支援センター ☎57-5351 (担当 加藤)

碇ヶ関在宅介護支援センター ☎45-2182 (担当 野呂)



善 意

平成24年2月から平成24年6月までに善意を寄せられた方々に厚くお礼を申し上げます。(受付順・敬称略)

<個人>		
匿名(北海道)		200,000円
匿名		30,000円
<団体>		
碇ヶ関地区婦人会	(たけのこマラソン益金)	10,240円
碇ヶ関赤十字家庭看護法奉仕団	(たすけあいチャリティショー)	31,313円
第25回平川市はしご酒まつり実行委員会	(はしご酒まつり収益金)	34,491円
さいとうカラオケ教室	(チャリティー収益金)	30,000円
キングレコード 弘前さくら	(チャリティー収益金)	20,000円
平川市商工会女性部	(物品販売等益金)	15,000円
碇ヶ関赤十字家庭看護法奉仕団	(碇ヶ関地域芸能発表会バザー収益金)	3,200円
平川市尾上職人組合	(チャリティ包丁研ぎ)	14,471円
<物品寄贈>		
今井 健助(松館)	お米(被災地支援物資)	60kg
船水 ミツ(本町)	毛糸の靴下、手袋(被災地支援物資)	120足
一戸さつ子(碇ヶ関)	ギャッジベッド、車イス(中古)	各1台
小田切くに(南田中)	石けん、食器洗剤、洗濯洗剤等	多数
匿名	紙パンツ、尿とりパット、お尻ふき	9袋
NPO法人ふるさとの会	お米	30kg
NPO法人ふるさとの会	にんじん	100kg
碇ヶ関小学校	プルタブ	168kg
川向町内会	プルタブ	21kg
ももの会(碇ヶ関)	プルタブ	20kg
セカンドハーベスト・ジャパン(東京都台東区)	乾パン、缶詰等保存食品	多数

一口メモ

社協では、多くの皆様より「プルタブ」を寄贈していただいてあります。プルタブは、青森市のアルミ買取センターに買い取ってもらっています。これまでの2年間で、400kgをいただきました。換金した金額は、7,709円となりました。

北京オリンピックの前までは、金属の相場が上昇していて、1kg40円(時価)でしたが、今では、1kg18円(時価)の相場となっています。

ただし、100kgが集まつたから100kgの換金額とはなりません。アルミは、溶解時に約4割が蒸発しますので、残った約6割の重さで換金されることになります。

また、車イスの購入については、1台約3万円します。換金した金額で購入することは、できません。しかし、社協では、「誰かのために、何かのために、役に立ちたい。」という気持ちを何とかして、形にしたいと思い、寄付金の一部を充当させていただき、車イスを購入したいと考えています。

また、ペットボトルの「キャップ」についてには、直接、社協では集めておりませんが、プルタブと一緒に集めて、持ってきててくれる方があります。

この辺では、道の駅田舎館等で集めていますので、そちらの方に持つて行っています。

取引の相場は、キャップ400個(約1kg)で、10円です。キャップ800個で、ポリオワクチン1人分(20円)が、発展途上国の子ども達に届きます。ワクチンが足りないために、5歳までに小さな命を落とす子どもが1日に4,000人います。「プルタブ」と「キャップ」は、この様に活用しています。



碇ヶ関小学校プルタブ贈呈式